



目次

- ◆ IWAKUNI日米交流合同コンサート
- ◆ 安心・安全共同パトロール
- ◆ 愛宕山運動施設陸上競技場等内覧会
- ◆ 第14戦車中隊16式機動戦闘車(MCV)
- ◆ 陸上自衛隊善通寺駐屯地における自衛隊施設整備

- ◆ 防衛施設周辺における民生安定施設の助成事業
- ◆ 陸上自衛隊米子駐屯地
- ◆ 職員の独り言
- ◆ 米軍施設の上空等におけるヘリドローンの飛行について(お知らせとお願い)



IWAKUNI日米交流合同コンサート

平成30年2月24日 中国四国防衛局は、山口県岩国市のシンフォニア岩国において、「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催しました。このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため実施しており、今回で8回目を迎えました。

当日は、岩国市立灘中学校、岩国市立高森小学校、大竹市立大竹中学校、和木町立和木中学校、周防大島町立森野小学校、米海兵隊岩国航空基地M.C. ペリー・ハイスクール、イワクニ・ミドルスクール及びイワクニ・エレメンタリースクールの生徒ら約230名が参加し、各校がそれぞれこの日のために練習してきた合唱や合奏などを披露しました。

コンサートの最後を飾ったのは、参加者全員による「イツ・ア・スモール・ワールド」の合唱、合奏で会場を盛り上げ、来場者は日米の生徒達の素晴らしい演奏に惜しみない拍手を送っていました。



U.S. Japan Friendship Concert in IWAKUNI
IWAKUNI 日米交流合同コンサート



安心・安全共同パトロール

平成30年1月31日 米海兵隊岩国航空基地周辺において安心・安全共同パトロールを実施しました。

当該パトロールは、岩国市に住む全ての人々がぐらしやすい安心・安全なまちづくりを推進するため「自らの地域は自らが守る」という連帯意識のもと、市民と行政が協働して防犯活動を進めるものであります。

当日は、福田岩国市長をはじめ、飯田山口県岩国県民局長、ファースト米海兵隊岩国航空基地司令及び赤瀬中国四国防衛局長並びに川下地区及び麻里布地区の防犯パトロール隊の皆さんにもご参加いただきました。参加者は約50名でした。



関係者による挨拶



川下地区でのパトロールスタート



飲食店内での防犯への呼びかけ



麻里布地区でのパトロールスタート



店主と情報交換



商店街をパトロールする関係者



川下地区には当局の補助金制度を活用して岩国市が設置したスーパー防犯灯が7基設置されています。

愛宕山運動施設陸上競技場等内覧会

平成30年2月14日 岩国市の愛宕スポーツコンプレックスの陸上競技場エリアの見学会があり、福田岩国市長、市議会議員の方々や市のスポーツや文化団体の関係者ら約100人が参加されました。

陸上競技場は400メートルトラック8レーンを備え、走り幅跳びや砲丸投げも可能な施設で、観客約1700人を収容し、人工芝のサッカー場も備えています。

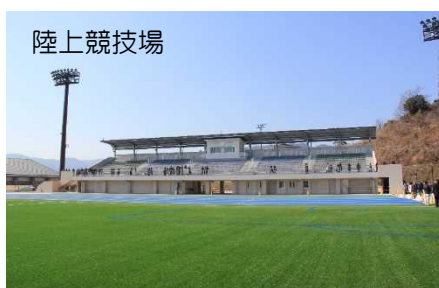
また、ロータスカルチャーセンター（コミュニティセンター）は、バスケットボールやバレーボールができるアリーナや和室、調理室等が備わった施設です。

防衛省としては、この愛宕スポーツコンプレックスが、日米双方のコミュニケーションが図られる場として、また、相互理解を深める場として、日米の絆・日米交流のシンボルとなるような施設になることを心より期待しています。

コミュニティセンター



陸上競技場



コミュニティセンター内 2階和室



コミュニティセンター内 1Fアリーナ



コミュニティセンター内で、赤瀬中国四国防衛局長が挨拶

第14戦車中隊16式機動戦闘車 (MCV)



〈諸元、性能〉

乗員4名 全長8.45m 全幅2.98m 全高2.87m
最高速度約100Km/h 105mm施線砲 12.7mm重機関銃

〈概説〉

空輸性及び路上機動性等に優れ、中距離域で軽戦車等を撃破する国産装輪型戦闘車

写真提供:第14旅団広報班

平成30年1月15日 岡山県勝田郡奈義町及び津山市に所在する日本原演習場において、16式機動戦闘車 (MCV) による射撃訓練が実施され、奈義町長、奈義町議会議長、奈義町日本原演習場対策委員長を始めとする25名の方々が同訓練を見学されました。

日本原駐屯地業務隊長による概況説明後、MCVに搭載された105mm施線砲による射撃が行われました。

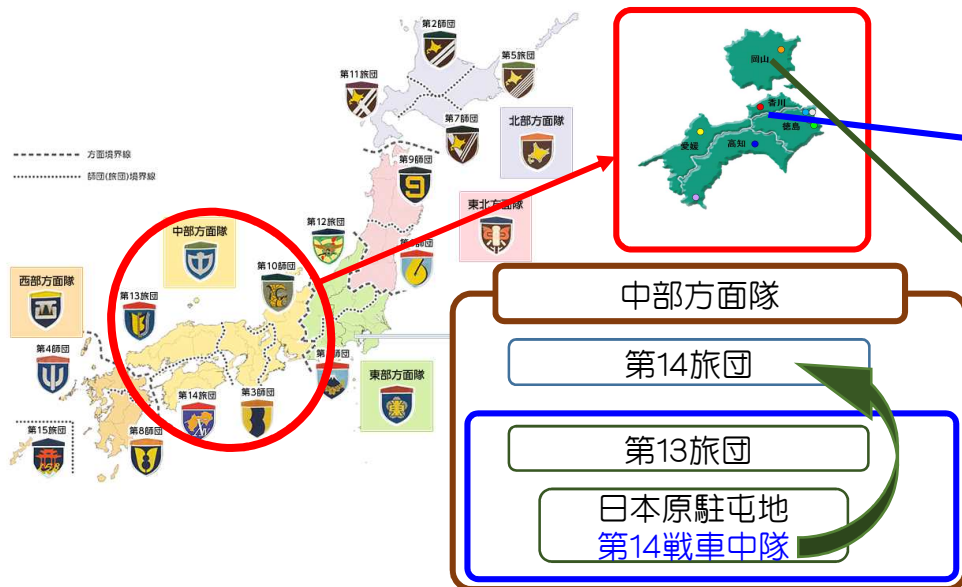


写真提供:日本原駐屯地業務隊



日本原演習場の概要
(演習場管理部隊:日本原駐屯地)
運用開始:昭和39年3月
(大蔵省より所管換(受))
規模:約1,470ha
年間使用日数:約270日間、
射撃日数:約103日、
来演人数:8.7万人(5年平均)
訓練で使用可能な火器等:
25mm機関砲、81mm迫撃砲、
84mm無反動砲、105mm戦車砲、
105mm施線砲など
情報提供:日本原駐屯地

16式機動戦闘車は昨年9月上旬から今年3月にかけて逐次、第14戦車中隊(日本原)に導入されますが、第14旅団の改編に伴い平成30年3月末には、善通寺駐屯地(香川県善通寺市)に移駐することになります。



沿革

香川県善通寺市に所在する善通寺駐屯地は、明治31年に旧陸軍第11師団が創設されて以来の伝統ある駐屯地であり、乃木将軍が初代師団長として勤務した場所でもあります。

昭和25年、警察予備隊の創隊に伴い善通寺訓練所が開設され、その後の幾多の変遷を経て昭和56年、当時の第13師団から四国警備隊区の防衛・警備を引継ぎ、第2混成団が編成されました。以来25年の活動を経て平成18年3月27日に第14旅団が新編されました。



改編

平成25年12月に策定された防衛大綱・中期防衛力整備計画に従い、第14旅団を各種事態に即応し、実効的かつ機動的に対処し得るよう、機動運用を基本とする機動旅団に改編する予定です。

第14旅団の機動旅団化に伴い、善通寺駐屯地所在の第15普通科連隊を航空機等での輸送に適した機動戦闘車を保持する即応機動連隊に改編する予定です。

即応機動連隊は、高い機動力を生かし、各種事態生起時に迅速に部隊展開し、対処することが可能です。

今回の部隊改編に伴い、中国四国防衛局は、集約施設、隊庁舎、車両整備工場等の施設整備を行いました。

集約倉庫の新設



部隊改編により装備品等の保管スペースを増加させる必要があります。このため駐屯地内に点在する旧軍時代に建設された老朽化した木造倉庫等を集約し新設しました。

隊庁舎の建て替え



部隊改編により約320名増員され、既存の庁舎・隊舎では部屋が不足し、また、既存の庁舎は昭和41年に建設され、老朽化により耐震性能が不足していたため、増員に対応し、十分な強度を有した隊庁舎への建て替えを行いました。

車両整備場の新設



即応機動連隊が有する新たな装備品である「16式機動戦闘車」を整備する必要が生じ、また部隊の所有する車両台数も大幅に増加したことから、新装備品の整備機能を有し、増加する車両台数にも対応した車両整備場を新設しました。

車両整備工場の内です。ここで車両の通常点検や整備を行います。

乃木館改修の検討



この建物は旧陸軍第11師団司令部の初代師団長として乃木将軍が勤務した庁舎です。築120年と老朽化が著しいことから、歴史的建造物としての保存を考慮した改修等を行うための検討を実施しているところです。

正面玄関から見た中央階段です。現在も大きく手を加えることなく大切に使用されています。

防衛施設周辺における民生安定施設の助成事業

「民生安定施設の助成事業」は、飛行場、演習場などの防衛施設があることによって、周辺住民の皆様の暮らしに影響を及ぼしている場合に、市町村などが行う生活環境施設又は事業経営の安定に寄与する施設の整備に必要な費用の一部を補助する事業です。

その補助メニューは、公園、道路、体育館、水道、消防ポンプ自動車、農林漁業用施設、また、音響による障害が認められる場合、その障害の緩和を目的とする防音工事として、市町村庁舎、老人福祉センター、公民館、学習等供用施設など、広範囲にわたっており、当局管内においても、さまざまな施設の整備に活用されています。

道路整備の例



消防車両整備の例



陸上自衛隊日本原演習場が所在する岡山県津山市では、自衛隊車両の通行に伴う一般車両とのすれ違いへの支障、歩行者に危険を及ぼすおそれといった障害を緩和するため、市道日本原大吉線の拡幅改良を実施しています。

米海兵隊岩国航空基地などが所在する山口県岩国市を管轄する岩国地区消防組合では、航空機事故などが発生した場合における消防活動の円滑化を図るため、はしご付消防ポンプ自動車(15m級)の整備を実施しました。

防音工事の例



航空自衛隊美保飛行場が所在する鳥取県米子市では、自衛隊等の航空機の離着陸等の実施により生じる音響の障害を緩和し、地域住民の介護予防を兼ね、健康増進や機能回復訓練を促進し、加えて、地域交流の拠点として地域の活性化に寄与することを目的とした「弓浜地区老人福祉センター」の整備を実施しました。

施設概要:延べ面積 561.09㎡、構造 鉄筋コンクリート造平屋建

陸上自衛隊 米子駐屯地

JGSDF Camp Yonago

部隊紹介

米子駐屯地は、鳥取県の西側、山陰のほぼ中央に位置し、北に日本海、西に汽水湖として日本で2番目の大きさを誇る中海、そして東には、伯耆富士と呼ばれる大山という風光明媚な弓ヶ浜半島の基部に在り、昭和25年12月、旧通信省米子航空機乗員養成所跡地に警察予備隊米子部隊として発足しました。

当初は第8普通科連隊の1個大隊が駐屯し、昭和37年1月の第13師団編成に伴って第8普通科連隊が駐屯しました。

平成11年3月、師団から旅団への改編により、基幹部隊である第8普通科連隊は軽普通科連隊編制となり、機動力の優れた部隊として現在に至っています。

また、米子駐屯地には第8普通科連隊のほか、米子駐屯地業務隊、第13後方支援隊第2整備中隊第1普通科直接支援小隊及び第356会計隊等が駐屯しており、駐屯地内設備の維持・管理、車両等の整備、駐屯地の会計等の業務を担当し、連隊が活動していく上で欠かせない存在となっています。



三心の庭



史料館



米子航空機乗員養成所之碑

駐屯地史料館は、地域の皆様の強い要望により昭和41年10月に開設されました。

展示物は、日露戦争以降の山陰出身者に関係した軍人の遺書や書簡、当時使用していた武器及び衣類品、当時の絵画及び写真、米子航空機乗員養成所に関する物品、自衛隊に関する物品等、約400点余を展示しております。



地域とともに

4月

「桜並木一般開放」



満開の桜を地域の方にも楽しんで頂くため、駐屯地を一般開放し、県内外から訪れた来場客を楽しませています。また、体験試乗コーナーを設け高機動車で駐屯地内をドライブし、子供たちも楽しめるイベントとなっています。

8月

「米子駐屯地
サマーフェスタ」



盛夏の恒例行事となる駐屯地サマーフェスタは、高等学校吹奏楽部による演奏や体の芯に響く太鼓、優雅で力強いよさこい踊り、陸自がいな万灯隊による万灯妙技、エンディングでは約800発の打ち上げ花火などを行い、夏の思い出を締めくくるにふさわしい行事となっています。

10月

「米子駐屯地
創設記念行事」



毎年秋に創設記念行事を行い、地域の皆様とのふれあいの場を設けています。当日は観閲式、観閲行進をはじめ、日頃の訓練の一端を披露する模擬戦闘訓練を展示するとともに、各イベント会場では、子ども広場、模擬売店、ジョイントコンサート、自衛隊車両の試乗等たくさんのイベントを企画し、来場した皆様との楽しい一時を過ごしています。

駐屯地周辺地図



駐屯地見学・隊内生活体験・施設利用・イベント情報等のお問い合わせは
陸上自衛隊米子駐屯地広報室まで

鳥取県米子市両三柳2603
0859-29-2161(代)

ホームページQRコード
または「陸自 米子」で検索♪

E-mail:flir_pr-8i-13b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp



職員の独り言



私は、平成29年4月1日付の新規採用で、企画部地方調整課総務係に配属されました。旅費請求書や出勤簿などの作成、来客への対応などを行っています。とても覚えることが多くて難しいこともあります。周りの人に助けをもらいながら頑張っています。個人情報なども取り扱うので緊張感を持って慎重に業務に取り組んでいきたいと思っています。

私の休日は、地元の友達と遊んだりして、充実した休日を過ごしています。休日にしっかりリフレッシュして仕事を頑張っていきたいと思っています。

(地方調整課 中谷一智)



私は、平成29年4月1日付の新規採用となり、企画部周辺環境整備課に配属されました。当課は防衛施設の周辺地域との調和を図るため、関係自治体が行う工事等に対し補助金の交付を行っています。それら工事等の審査が主な業務ですが、その内容は河川改修や道路改修など多岐にわたる業務に取り組まなければなりません。その大半が、学生時代に触れたことのない分野で、苦労もありますが、日々新たなことを学びながら仕事のできる環境にやりがいも多分に感じています。

また、同僚、諸先輩方に気兼ねなく相談できる職場環境や、食をはじめ様々な文化の豊かな広島を中心部で勤務できることも魅力の一つです。休日は同僚や友人と、食事や観光に出かけることでリフレッシュしています。さらに色々なところへ足を運び、地域の魅力に触れていきたいと思っています。仕事・私生活共に充実できるように今後とも励んで行きます。

(周辺環境整備課 山崎和人)

米軍施設の上空等におけるヘリ・ドローンの飛行について

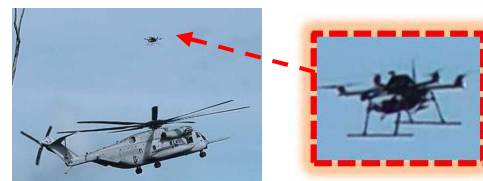
お知らせとお願ひ

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないで下さい。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。



米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。



■ 米軍ヘリとドローンが接近する状況

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

安全確保のため、御理解をお願いいたします。

防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

■ 本件の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課
防衛省中国四国防衛局 企画部地方調整課

(代表)03-3268-3111(内線:36245、36047)
(直通)082-223-8324